

## 〈卓球〉世界ジュニア選手権

11月26日～12月3日、リーヴァ・デル・ガルダ(イタリア)にて2017年世界ジュニア卓球選手権大会が開催され、宇田君、長崎さん、木原さんが日本代表として出場しました。

シングルスで長崎さんは、準々決勝まで進出しましたが、孫穎莎(中国)にゲームカウント1対4で敗れメダル獲得はなりませんでした。また宇田君と木原さんは2回戦で敗れました。

ダブルスでは、宇田君が田中佑汰選手(愛工大名電高)と組んで出場し、2回戦でドイツペア、準々決勝でベルギーペアに勝利しました。準決勝で中国ペアに2対4で敗れましたが、3位となり銅メダルを獲得しました。長崎さんは加藤美優選手(日本ペイントホールディングス)と、木原さんは木村光歩選手(山陽女子高)と組み、準決勝では共に中国ペアに敗れましたが、3位となり銅メダルを獲得しました。

男子団体では準々決勝でフランス、準決勝で韓国に共に3対2で勝利し、決勝に進出しました。決勝は中国との対戦となりましたが0対3という結果で準優勝となりました。女子団体も決勝まで進出しましたが、男子と同じく中国に1対3という結果で敗れました。

昨年の大会では男女団体が優勝を果たしましたが、今大会では中国の巻き返しで優勝を逃しました。その中で長崎さんは、団体戦決勝では中国選手を相手に1勝を挙げるなどの活躍が光りました。

《大会成績》

- ・ 男女団体 2位
- ・ 男子ダブルス3位 宇田幸矢
- ・ 女子ダブルス3位 長崎美柚、木原美悠



【写真:日本卓球協会HPより】

## 〈卓球〉ワールドツアーグランドファイナル

卓球ワールドツアーの上位約16名が出場できる年間最終戦、2017ワールドツアーグランドファイナルが12月14日～17日、アスタナ(カザフスタン)にて開催され、張本君と平野さんがシングルスに出場しました。

張本君は、今年のワールドツアー4勝で世界ランキング3位のドミリー・オブチャロフに対し、取られても取り返し粘ったもののフルゲームの末、準々決勝で敗れました。

平野さんは、組み合わせ抽選の結果、1回戦で今年3戦3敗の中国の強豪、顧玉婷選手とあたりました。2ゲームを先取されるも第3ゲームをデュースの末おさえるなど、最後まで諦めずにフルゲームに持ち込んだものの、惜しくも敗れました。

《大会成績》

- ・ 男子シングルス 張本智和 ベスト8
- ・ 女子シングルス 平野美宇 1回戦敗退

## 〈レスリング〉全日本選手権

12月20～23日、2018年からの新階級とルールを先取りし、男女10階級で、天皇杯全日本選手権大会が駒沢体育館にて開催されました。須崎さんが女子50kg級、南條さんが女子57kg級に出場しました。

須崎さんは昨年48kg級で優勝しており、階級は異なりますが全日本2連覇を目指して大会に臨みました。準々決勝は4分22秒テクニカルフォールで勝利し、準決勝に進出しました。準決勝は2年前の決勝で敗れた入江ゆき選手(自衛隊体育学校)との対戦となりました。開始から相手のペースで試合が進みポイントを取られ、第2ピリオドに入って攻撃したところを逆に返されて敗れました。8月の世界選手権で念願の優勝を果たしていただけない、本人も本当に悔しい気持ちで一杯でしたが「自分の持ち味を出せず、入江選手に2年前と同じ負け方をしてしまいました。気持ちでは勝つと思っていたけれど、相手の技が上手でした。調整はうまくいっていたので、自分が弱かっただけです。JOCエリートアカデミー所属で闘う試合はこれが最後だったので、優勝をしてこれまでの恩を返したいと思っていました。試合前に戻ることはできないので、また一からの気持ちで頑張ります。」と再起を誓っていました。

南條さんも昨年55kg級で優勝を果たしており、須崎さん同様に全日本2連覇を目指して大会に臨みました。準々決勝は接戦となりましたが5対4で勝利し、準決勝に進出。準決勝では世界選手権優勝経験のある浜田千穂選手

(キッコーマン)との対戦となりましたが、力を出し切れず1対2で敗れました。「悔しい。浜田選手と闘うのは2回目。前回は私が勝っています。もともと浜田選手は自分から攻めてこないタイプ。自分から攻めたところでカウンターを合わされた。そうされることは分かっていたけど、対応し切れなかった。自分の力不足でした。」とコメントしていました。

なお、この大会には修了生も男子フリースタイル70kg級で乙黒圭祐君(山梨学院大3年)、86kg級で白井勝太君(日本大4年)、女子55kg級で向田真優さん(至学館大2年)が優勝を果たしました。

## 〈フェンシング〉全日本選手権

12月7～10日駒沢体育館で開催された全日本選手権に、男子サーブルでは吉田君、女子サーブルに脇田さんと月野さんが出場しました。

脇田さんは予選リーグを全勝で突破し、第4シードと好位置につけました。その後、順調に勝つ進み、準々決勝に進出。準々決勝では、今年エリートアカデミーを修了した高嶋さん(法政大1年)との対戦となりました。長い間、一緒に練習した同士の戦いとなりましたが、経験で上回る高嶋さんに5対15というスコアで敗れました。しかし、高校生として昨年度の大会に続いてのベスト8進出は大きな成果です。

一方、修了生も大活躍し西藤俊哉君(法政大2年)が男子フルーレで優勝を果たしました。JOCエリートアカデミーとして在籍生、修了生を含めて個人戦での初優勝です。また、女子サーブルでも江村美咲さん(中央大1年)が準優勝、高嶋理紗さんが3位と健闘しました。

## 〈北区作文コンテスト表彰式〉

12月7日、JR王子駅前にある「北とぴあ」で、第67回“社会を明るくする運動”感謝状贈呈式及び作文コンテスト表彰式がおこなわれました。今回のコンテストには、稲付中学校を代表して佐藤さんの書いた作文が選ばれ、北区推進委員会委員長賞という最高位の賞を受賞しました。

式典後の懇談会では、受賞者それぞれが感想を述べる機会が設けられ、「私は、3年次の4月に山形県から北区立稲付中学校に転入してきました。不安がたくさんある中、地域の方にあいさつをしてもらい元気づけられました。毎日かわすそのあいさつに北区の町のあたたかさを感じました。これからも北区がもっと明るい町になることを願います。そして、その活動に、中学生・選手として自ら明るいあいさつをしていきたいです。」と彼女らしくしっかりと答えていました。出席者はこの言葉を大変嬉しく感じてくれていたそうです。



【受賞者(前列左から2人目が佐藤さん)】

### 〈Y,Uの編集後記〉

2018年新年を迎え、リニューアルとともに執筆も担当させていただくことになりました。アカデミー生のいろいろな分野での活動を報告できること、今度も楽しみにしています！

## 〈卓球〉

### ITTF スターアワード

### ブレイクスルースター賞受賞



【写真：日本卓球協会HPより】

ワールドツアーグランドファイナル開幕に先駆け、国際卓球連盟年間優秀選手授賞式である2017ITTFスターアワードが行われ、張本くんが年間で最も躍進した選手に贈られるブレイクスルースター賞を受賞しました。張本くんはこの賞以外にも男子優秀選手賞にもノミネートされました。また、女子優秀選手賞には平野さんが、コーチ賞として張本君のお父様もノミネートされ、日本人ノミネート者はJOCエリートアカデミー一色となりました。

張本くんは英語で受賞スピーチを行いました。原稿は英会話の講師の指導の下に書きあげたもので、競技力・生活力・学力の基礎からなる人間力育成を理念とするJOCエリートアカデミーの成果が見えた一幕となりました。

## 〈保護者面談〉

平成29年度の保護者個人面談が11月11日(土)から12月16日(土)まで実施しました。

これは、アカデミー生の活動やJOCエリートアカデミーの現状について保護者と共通理解を図り、今後の指導や事業展開に活かしていくことを目的として、毎年この時期に実施しています。今回も多くの保護者に貴重な時間を割いて参加いただきました。面談の内容は①JOCエリートアカデミー全体の状況説明、②前期評価を基に個人の状況についての共通理解、③進路等を含めた今後の方向性の確認、の3点です。

「けがをきっかけとして競技に対する意識が大きく変化し、更に自分を追い込むことが出来るようになった」、「体形が変わったのに驚いている。また“野菜を食べないと気持ちが悪い”という言葉にも驚いている」、「人の話を素直に聴けないことが、最大の課題である。特に、自分の思うとおりにならない時こそ、それが大切だ」など、数多くの意見や感想などがありました。今回出された意見や感想等を今後の指導にも反映させて行きます。

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。  
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>